

令和2年度 第1回美祢市高齢者保健福祉推進会議 会議録

日 時：令和2年7月2日（木）13時30分～15時

場 所：美祢市役所 3階 第1・2会議室

出席者：高橋委員、札幌委員、竹尾委員、真瀬委員、弘利委員、田代委員、開地委員、柴崎委員、西村委員、徳永委員、増谷委員、武安委員、岡委員、小松委員、木村委員、石田委員 計16名（欠席2名）

事務局：杉原市民福祉部長、古屋高齢福祉課長ほか4名

議 題

1. 会長及び副会長選出
2. 美祢市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について
3. その他

議事（要旨）

1. 開会

2. 市民福祉部長挨拶

3. 協議事項

（1）会長及び副会長の選出について

会長に札幌委員、副会長に高橋委員が選出される。

（2）美祢市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について

高齢者を取り巻く現状、調査結果報告、現計画の施策における評価、第8期介護保険計画基本方針と策定スケジュールについて、事務局から説明を行う。

【意見・質問】

○委員 第8期介護保険事業計画基本指針の6番について、現在の介護の労働の担い手不足は深刻になっている。基本指針にはないのだが、外国人技能実習生の受け入れなども美祢市については積極的に取り組んでいかないといけないのではないかと思う。こういう現場の意見を聞きながら、具体策に落とし込んでほしいと思う。

⇒事務局 医療、介護について人材不足については、事務局の方でも認識している。第8期の計画では、推進会議の意見を十分に聞き、外国人技能実習生等、幅広い視野を持った事業骨子ができたらと思っている。

○委員 事務局の方で調べていただきたいが、外国人の技能実習生といったことが山口県では行われているのか。

⇒事務局 情報不足の点もあるが、特には聞いていない。ただ、昨年に東南アジア方面から実習生を受け入れたというような話は聞いている。新型コロナウイルスの件で海外渡航が制限されている。制限が解除されたときの動向は注視していきたいと思っている。

○委員 美祢市の人口動態から考えると、若い人は減っていき、IターンやUターン等も望めない現状もある。外国人の若い技術者の方に市に来てもらい、介護の担い手となってもらうことが、一番希望が持てる。難しい部分もあるだろうが検討してほしい。もう一つ、医療介護の連携について重要なことであるが、先ほどの説明ではなかなか連携が進まないとあったが、美祢市にとって連携が進まない理由についてどう考えるか。

⇒事務局 訪問看護や訪問診療について、地域によって十分対応できているとは言えないため、今以上の提供体制を整備していきたいと考えている。

○委員 美祢市は広いので、訪問看護等が1日にたくさんのところが回れないというところもある。交通の便であるとか、何か対策として事務局の方で考えがあるか。

⇒事務局 そのような現状があることも、事務局の方でも把握している。今までは、重点的には見ていなかったが、高齢者の住まいの問題に関して、今回の計画の中で取り上げたいと考えている。

○委員 医療と介護の連携の相談窓口の方もしているが、ほとんど相談がない状態である。宣伝も足りないのかもしれないが、実際の現場から見ると医療と介護の連携について何を相談していいのかわからないというのが、実情ではないかと思う。実際に現場で一番悩んでいるのは、介護支援専門員の方ではないかと思われるので、介護支援専門員の会などに積極的に参加して、悩みが解決できるようにしていきたいと思っている。

○委員 在宅療養支援診療所等は、美祢市にはあるか。

⇒事務局 在宅療養支援診療所ないし支援病院にはそれぞれ基準がある。市内には現段階ではその基準を満たすところはない。訪問診療や往診についての情報は、医師会ホームページ等にあると思う。要望があれば、情報はお渡しできる。

○委員 先ほど医療と介護の連携の話があったが、在宅で最後まで暮らしたいという高齢者は、緊急の時にとても不安が大きいと思う。自分のかかりつけの病院と他の病院が瞬時に連携するなど、そういう部分が美祢市全体で必要になると思う。

○会長 往診や訪問診療をする医師たちが6、7人集まって当番制ができるような医療体制も考えていきたい。また、まちづくりについては3年先ではなく、5年、10年先を考えて計画を作っていかなければならないと思う。

○委員 最近、病・診連携といって連携をもっと緊密に取ろうではないかという雰囲気醸成されている。もっと介護施設や特養などの申し入れはできるだけ引き受けようと検討している。今後またそういう面で相談させていただきたいと思っている。

○会長 スケジュールについては、早め早めにご意見をいただいて計画策定を行っていければと思うので、よろしく願います。

4. 閉会